

ケイ子の東奔西走日記

1月9日 家庭と両立求め提言書



県議会女性議員 7 人は、佐々木順一議長に対し議会活動と家庭生活の両立のための環境づくりの提言書を提出しました。

平成 30 年 5 月に「政治分野における男女共同参画推進法」が成立したと吉田敬子議員の出産を機に、仕事と子育てや介護などの家庭生活との両立をしやすい環境づくりを意識化することがねらいです。

県議会会議規則では欠席の理由として「公務、疾病、出産、その他の事故」となっていますが、提言書では「その他の事故」ではなく「育児、家族の看護または介護、家族の葬儀、配偶者の出産補助、その他やむを得ない事由」を加えるよう求めました。また、病気、育児、介護などで長期間欠席する場合の報酬のあり方についても、議会全体での検討を求めています。

会議規則の一部改正は、6 月議会において全会一致で可決されました。

1月29日 四国・香川県へ



「人口減少・子育て支援対策調査特別委員会」の調査で香川県を訪問。

「さぬきこどもの国」は大型児童館で、遊び・まなび・体験の自主事業が豊富でした。飛行機や宇宙船は子どもたちに人気でした。

香川県は「子育て県」をアピールしており、結婚・妊娠・出産・子育て・青少年育成・子どもの貧困対策など切れ目のない支援が行われていました。本県でも参考にすべき点が多かったです。

また、「いのちの応援舎」を訪問。助産所での自然分娩、産後ケア、小規模保育、お年寄りのデイサービスを実施している多機能施設でした。全国から出資を募り、助産師さん 7 人と保育士・介護士で運営していました。

岩手にもこのような助産院が必要だと思いますが、意気込みのある助産師の存在はどうか、理解提携してくれる病院があるかどうか、スタッフ確保や運営費問題など課題が多いのも現実。実現方を模索してみます。

毎週金曜日の朝街宣



北上駅前と市役所前で、平野明紀市議とともに毎週金曜日は朝のご挨拶。駅前ではバスを待つ高校生に対し、「今の政治でいいんですか」と言い、市役所前では、議会報告をしています。皆さんから激励をいただき感謝です。

4月5日 前川喜平さん時局講演会

「北上平和フォーラム」等の実行委員会が主催し、元文科省事務次官の前川喜平さんの講演会が開催され、約 1,000 人が参加。

前川さんは、静かな口調ながら、いかに安倍政権がウソと隠べいの政治をしているか、官邸が官僚や司法等の人事を握り、マスコミも牛耳っていること。敵を作りポピュリズムに訴える手法、ファシズム、国家主義、新自由主義の安倍政権を厳しく明確に批判しました。

参院選出馬の横沢たかのりさんも決意を述べました。

6月29日 女性議員と語る会（盛岡）



労働組合の女性部やあい女性会議の皆さんが参加し、グループ討議が行われました。

女性活躍…と言われるものの差別を感じることはどんなことか、職場を去る女性の状況はどうか、本当の働き方改革になっているのか…本音のトークがありました。職場は人員削減で多忙、非正規雇用で将来が不安、地域行事に若い人が少なく不安…様々な意見が出されました。

更には議会に声を届けてほしいこと、女性議員を増やそうと激励をいただきました。

平成30年度 政務活動費収支報告

県から毎月 31 万円の活動費が交付され、領収書を添付して精算しました。今後も有効に使用させて頂きます。

収入		
政務活動費	3,720,000	310,000×12 ヶ月
支出		
調査研究費	278,022	各種議員連盟会費
研修費	303,443	各種研修会参加費、旅費
広聴広報費	1,191,982	県議会レポート印刷、郵送料(2回分)
会議費	120,121	議案説明会等の出席交通費
資料購入費	219,688	図書、新聞
事務所費	476,557	事務所家賃等(50%)
事務費	334,144	事務所電話、複写機等(50%)
人件費	773,300	事務員(50%)
合計	3,697,257	
	22,743	円を返還しました。

平和で明るい社会を子どもたちへ・・・

岩手県議会議員 佐藤ケイ子



県議会レポート

No.8 2019年(令和元年)8月

編集発行：岩手県議会議員 佐藤ケイ子

事務所：北上市青柳町 1 丁目 5-39 Tel.0197-72-7548 fax72-7549

自宅：北上市下江釣子 16-154-3 (Tel&fax 0197-77-2126)

E-mail：keiko-ktkm@poppy.ocn.ne.jp

ホームページ http://www.sato2007.com/

ご意見・ご要望等をお聞かせください。今後の政策づくりに生かしてまいります。



4年間をふり返し、決意も新たに挑戦へ

2015 年(平 27)の県議選初挑戦から 4 年の任期が迫ってきました。

4 年前は、「北上発(初)女性の声を県政に…」をキャッチフレーズに、多くのご支援をいただき県議会に送っていただきました。

この間、一般質問に 5 回登壇の機会を頂き、予算や決算特別委員会でも「現場の声」「地域の声」「女性たちの思い」を届けてまいりました。特に、福祉・医療・子育て関係や働き方改革・若者女性支援など様々な発言をしましたが、国の制度政策の矛盾も痛感しています。政策の前進を図るためにも、更に地域から声をあげていきたいと決意を新たにしています。

先日ある先輩議員は、女性議員が 4 人から 7 人に増え県議会の雰囲気が変わったこと、野党共闘が進み、揚げ足取りではない建設的な議論が行われた 4 年間だったと話されました。充実感の一方で、議会棟の禁煙やタブレット導入の先送り等に象徴されるように議会改革の必要性も感じています。

県政課題は、東日本大震災からの復興や北上川バレープロジェクト(北上川流域の先端産業や地場産業の振興と住環境の整備など)の推進、人口減少と地域振興など山積しています。

特に「幸福」をキーワードにした新たな「いわて県民計画(2019-2028)」がスタートし、今までにない施策展開と実効性を高めていくことが求められています。

「お互いに幸福を守り育てる希望郷いわて」の実現をめざし、今後も活動できますよう更なる叱咤激励をお願い申し上げます。

県政報告会

と き：2019 年 8 月 20 日(火)

午後 6 時 30 分～

ところ：ホテルシティプラザ北上

時節柄、飲食はありません。

皆さまのご参加をお待ちしております。

お席の準備の都合上、参加連絡をお願いします。

連絡先(事務所) 電話：0197-65-5086

Fax：0197-65-5088

ゲスト：岩手県知事 達増 拓也 様

参議院議員 木戸口英司 様 ほか

事務所を移転しました。

9 月中旬まで、新穀町の旧大塚呉服店に事務所を移転しております。

2019年(平31)2月 県議会一般質問(項目)

2月22日(金)、7項目について一般質問しました。

(県議会だより引用)



1. 北上川バレープロジェクトについて

- (1) 東芝新工場誘致における知事の活動
- (2) プロジェクトを具体化するための諸課題(県南地区の工業団地整備は、迅速な住宅施策を、人材育成におけるいわてデジタルエンジニア育成センターと北上コンピュータ・アカデミーの運営)

2. 海外戦略について

- (1) 知事のトップセールスの成果と今後の展開
- (2) 国際定期便(台湾便・上海便)の誘客取り組み
- (3) 釜石港の利便性向上と利用促進策

3. 子育て支援について

- (1) 放課後児童クラブ(潜在的待機児童と整備計画、障がい児受け入れの財政支援、児童支援員の配置基準緩和の問題)
- (2) 児童虐待防止(児童相談所の体制強化、児童福祉司等養成)

4. 障がい者支援について

障がい者(行動障がい等)の歯科診療の課題認識と医療体制の充実を

5. 雇用労働環境について

- (1) 働き方改革について経営者団体へ理解促進を
- (2) 女性活躍推進員の活動展開の拡大

6. 県及び市町村職員の労働環境について

- (1) 市町村職員の状況(震災応援職員の確保、臨時・非常勤職員の割合)
- (2) 県職員の状況(欠員解消・児童相談所や農業改良普及センターの体制充実を、長時間労働は正策を、会計年度任用職員制度への対応)

7. 民俗芸能の保存継承について

民俗芸能の保存継承に市町村への誘導策を

工業団地整備、住宅施策、人材確保策の一般的な取り組み

問 北上川バレープロジェクトを具体化するための工業団地整備、住宅施策、人材確保策の一体的な取り組みについて伺う。

答 工業団地については、市町村が工業団地を含む立地基盤を整備することを基本としており、県は用地選定、整備手法などについて市町村による整備計画の立案段階から必要な助言を行うなど、緊密に連携して対応している。また、市町村に対する財政的支援として昨年度、自治振興基金による貸付が可能となるよう制度を整備したほか、土地利用規制などへの対応にも関連部署と連携して取り組んでいる。

また、民間投資も含めた住宅の建設は、市町村のまちづくりと一体的に促進していく必要があり、県としては、個々の自治体のまちづくりを基本に捉えつつ、広域の視点を持ちながら取り組むこととしており、今後必要となる住宅や交通インフラなどの最適な在り方について、関係自治体と協議を開始した。



児童虐待防止

問 国が決定した虐待が疑われる全てのケースの緊急安全確認について、現在の児童相談所の体制で対応できるのか。また、児童相談所の退所後のフォローにどう対応しているのか。

答 県内の対象ケースは378で、全児童相談所職員をあげて現在、緊急安全確認を行っているが、形式的に行うことなく、子どもの安全確認を最優先に一つ一つ丁寧に行っていく。また、一時保護を解除して家庭復帰した後のフォローは、児童福祉司が家庭訪問などにより保護者への指導を行うほか、市町村要保護児童対策地域協議会と協力し、地域の関係機関が連携、役割分担をしながら見守り活動などの支援を行っている。今後も家庭復帰後に虐待が再発するなどのリスクが高まった場合は、関係機関と連携の上、速やかに安全確認を行い、躊躇することなく再度一時保護を行うなど、児童の命を最優先にした対応を行っていく。

「いわて県民計画(2019~2028)」(いわて幸せ大作戦)と新時代スタートダッシュ予算

基本目標：東日本大震災津波の経験に基づき、引き続き復興に

取り組みながら、お互いに幸福を守り育てる希望郷いわて

幸福追求権の保障がキーワード

県議会の次期総合計画特別委員会(全議員)は、平成30年6月議会で設置され、9月・12月・2月の定例会で質疑や勉強会が行われ、平成31年2月議会で付帯意見をつけ全会一致で「いわて県民計画(2019~2028)」を可決しました。新総合計画のキーワードは「幸福」とし、県民一人ひとりがお互いに支え合いながら、幸福を追求していくことができる地域社会を実現していくため、10の政策分野を設定。一人ひとりの幸福を守り育てる取り組みを展開します。

健康・余暇

健康寿命が長く、いきいきと暮らすことができ、また、自分らしく自由な時間を楽しむことができる岩手

家族・子育て

家族の形に応じたつながりや支え合いが育まれ、また、安心して子育てをすることができる岩手

教育

学びや人づくりによって、将来に向かって可能性を伸ばし、自分の夢を実現できる岩手

居住環境・コミュニティ

不便を感じないで日常生活を送ることができ、また、人や地域の結び付きの中で、助け合って暮らすことのできる岩手

安全

災害をはじめとした様々なリスクへの備えがあり、事故や犯罪が少なく、安全で、安心を実感することができる岩手

仕事・収入

農林水産業やものづくり産業などの活力ある産業のもとで、安定した雇用が確保され、また、やりがいと生活を支える所得が得られる仕事につくことができる岩手

歴史・文化

豊かな歴史や文化を受け継ぎ、愛着や誇りを育んでいる岩手

自然環境

一人ひとりが恵まれた自然環境を守り、自然の豊かさとともに暮らすことができる岩手

社会基盤

防災対策や産業振興など幸福の追求を支える社会基盤が整っている岩手

参画

男女共同参画や若者・女性、高齢者、障がい者などの活躍、幅広い市民活動や県民運動など幸福の追求を支える仕組みが整っている岩手

新しい時代を切り拓くプロジェクト

10年後の将来像の実現をより確かなものとするため、岩手らしさを生かした価値やサービスの創造などの先導的な取り組みを進める11のプロジェクト

- | | |
|------------------------|---------------------|
| 1 ILCプロジェクト | 7 健幸づくりプロジェクト |
| 2 北上川バレープロジェクト | 8 学びの改革プロジェクト |
| 3 三陸防災復興ゾーンプロジェクト | 9 文化・スポーツレガシープロジェクト |
| 4 北いわて産業・社会革新ゾーンプロジェクト | 10 水素利活用推進プロジェクト |
| 5 活力ある小集落実現プロジェクト | 11 人交密度向上プロジェクト |
| 6 農林水産業高度化推進プロジェクト | |

2019年度一般会計9,355億円のポイント

予算特別委員会での質疑項目(佐藤ケイ子)

1. 県民みんなで支える地域医療の推進(適正受診や医師への理解を広める県民運動、医療情報ネットワークの推進)
2. アドバンスケアプランニング普及啓発事業(人生の最終段階における医療・ケア・看取りの体制構築)
3. 保育の状況(待機児童の状況、潜在保育士の就業支援、幼児教育無償化問題)
4. 子ども食堂の支援(新たな補助基準)
5. 産業人材奨学金返還支援制度(活用状況と今後柔軟な拡大を)
6. 女性農業者について(女性農業者の状況把握、「幸せ創る女性農林漁業者育成事業」の実績、新年度の取組みは)
7. 多面的機能支払交付金(取り組み組織数と面積、多様な人材の参画と広域管理の課題)

- ・三陸防災復興プロジェクト2019やラグビーワールドカップ釜石開催など、東日本大震災の教訓や復興の姿を発信
- ・国際リニアコライダー(ILC)など「新しい時代を拓くプロジェクト」を推進
- ・中期財政見通しや公債費負担適正化計画をふまえ、財政健全化の取り組み

